

金融・労働研究会ネットワーク研究会への報告 2024・11・3

## 北海道の地域金融で起きていること

### 先端半導体製造会社「ラピダス」の千歳市への工場建設

- ・北海道の千歳市に工場建設を進めているラピダス株式会社は、世界最先端線幅2ナノメートル(ナノは10億分の1)のロジック半導体を製造すること。2022年8月にトヨタ自動車、三菱UFJ銀行等大企業8社が資本金73億円出資された会社。
- ・設立後ただちに政府から700億円の補助金を受け、翌2023年度に2600億円、2024年度には5900億円の補助が決まり、これまで総額9,200億円もの補助を受けている。半導体の試作品の製造まで2兆円、量産化するまでにさらに必要と言われている。
- ・北海道経済団体連合会で作る北海道新産業創造機構は、ラピダスによる年度の14年間に18兆4千億円、単純計算で年間1兆3千億円の経済波及効果と推計し、北海道の主要産業である「観光産業に匹敵する」と発表。また「北海道の産業構造が変わる千載一遇のチャンス」と喧伝し、北海道庁は「次世代リガーに、世界に挑む北海道」の見出しの広報誌を全道民に配布した。
- ・企業や道民のなかには「ラピダスで北海道の地域経済が活性化」し経済がなるのではないかとの幻想が生まれている。

### 北海道・札幌市が「金融資産運用特区」に指定

- ・北海道・札幌市は24年6月、岸田首相の肝いりでの政策として創設された「金融・資産運用特区」に選定された。「金融・資産運用特区」とは、海外の資産運用企業を「国際金融センター」を目指すというもの。(「特区」指定は、東京都、大阪府、福岡県・福岡市と4地域)
- ・北海道・札幌市は、他地域と差別化をするため、再生可能エネルギーなど野、いわゆるGX関連投資を呼び込む「GX金融・資産運用特区」とした。エネルギー供給基地と世界の金融センターの実現を掲げ、洋上風力発電など道内全体への投資を加速させつつ、札幌市を中心に資金や情報、金融人材を呼び込む。
- ・道・札幌市が政府に提案した銀行のGX関連事業に対する出資規制の緩和と、銀行以外の業務を行う子会社・兄弟会社の「銀行業高度化等会社」がGX事業の主力になる、北洋銀行、北海道銀行など地域金融機関を中心に、GXコン